



クビナガリュウ
ホッピー

むかわ町立 穂別博物館

054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6 0145-45-3141

<http://www.10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/>

今年の博物館は...

かいりゅう

しょうかい

「海 竜」を紹介します



ホベツアラキリュウ

むかしの海を泳いだハ虫類。恐竜ではありません。

全身復元骨格（8m）
（穂別博物館）

穂別を泳いだクビナガリュウ

ホベツアラキリュウ（クビナガリュウ）は、1977年に発掘されて全身が復元されました。約8,000万年前（中生代白亜紀後期）に海だった穂別を泳いでいました。

恐竜と似ているけれど...

似ているけれど、クビナガリュウは恐竜ではありません。「恐竜」とは「足で体を真下から支えるハ虫類」のことで、中生代（2億5000万～6500万年前）に栄えたハ虫類のうち、陸上にいたものだけになります。つまり、同じ時代に空を飛んでいた翼竜や、海を泳いでいたクビナガリュウは、恐竜ではありません。

海の竜だから「海竜」

クビナガリュウは「恐竜」ではありませんが、彼らと同じ時代に海を泳いでいました。このように中生代の海に生きていたハ虫類を、これからは「海竜」（かいりゅう）と呼ぶことにします。

海竜のなかまたち

穂別では、クビナガリュウのほかにモササウルスが見つかっています。ヘビやトカゲの仲間で、白亜紀の終わりに絶滅しました。また、今も海を泳いでいるウミガメは、白亜紀の穂別にたくさんいました。「竜」の印象とはちょっと違うのかもしれませんが、同じ時代にいたのでウミガメも海竜のなかまとします。

（学芸員 桜井）



ティラノサウルス

むかしのハ虫類。代表的な肉食恐竜。体の真下に足があり、二本足で歩いた。白亜紀後期に、北アメリカやカナダ、中国大陸などにいた。12～14m。



カナヘビ

今のハ虫類（トカゲのなかま）。体のよこに、足がつき出す。20cmほど。

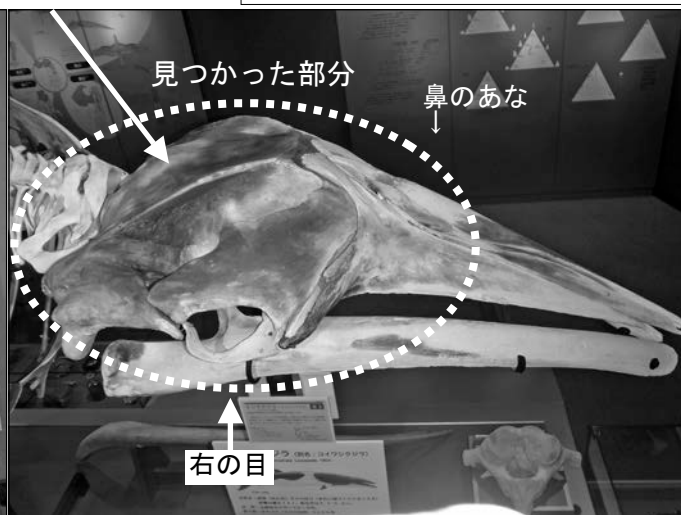
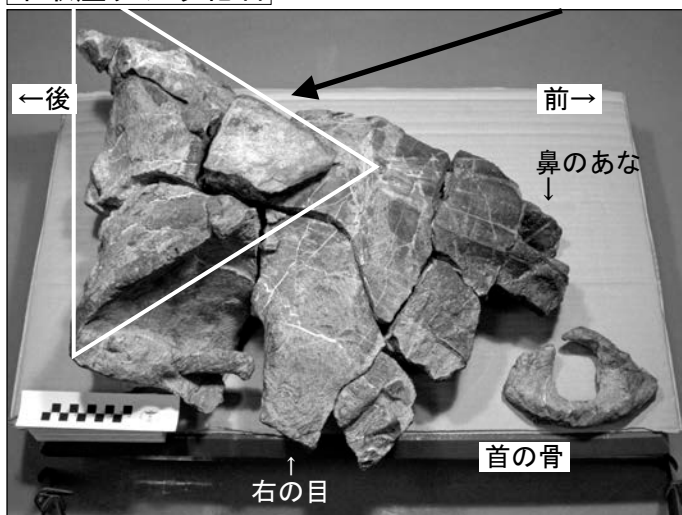
（2006年、穂別地区）

平取町で見つかったクジラ化石

平取産クジラ化石

後頭骨（大きな三角形の骨）

現在のミンククジラ（ヒゲクジラ）



平取町で発見されて穂別博物館に寄贈された、クジラの頭の化石です。大きさは56cmほどで、頭の後ろから鼻のつけ根くらいまでが見つかりました。クジラは鼻のあなが頭の真ん中あたりにあるので、見つかったのは頭の後ろ半分くらいです。左側は少し欠けています。大きな三角形をした後頭骨（こうとうこつ）が前へはり出しているの、ヒゲクジラと考えられます。とても古い種類を別にすると、クジラはハクジラとヒゲクジラに分けられます。ヒゲクジラは歯の代わりに「ヒゲ板」があり、小魚やプランクトン（水中の小さな生き物）を食べています。見つかった場所やまわりの岩石から、約1600万年前と考えられます。穂別でも同じ時代からたくさんのクジラ化石やデスモスチルスが見つかりました。このクジラもそのころ、穂別まで泳いでやって来ていたのかも知れません。〈寄贈：佐藤 進（日高町富川）〉（学芸員 桜井）

穂別博物館 2009春の企画展

「穂別のいろいろ化石」展

国際博物館の日（5/18）・地質の日（5/10）

関連事業

4月25日（土）～6月7日（日）

博物館 特別展示室

- ・穂別のいろいろな化石を紹介！
- ・恐竜で遊べるコーナーもあるよ！

＜連休中（4/28～5/6）は休まず開館＞

展示室、手直し中

博物館の展示室を少しずつ手直ししています。どこがどのように変わったのか、ようすを見に来てください（町内の小中高生は、いつでも無料で見学できます）。

ホベツアラキリュウ
実物化石

ホベツアラキリュウ
発掘写真



中村記念館は、今年は4月18日（土）から始まります

むかしの家のつくりや、穂別の開拓の歴史を学ぼう（高校生までは、無料で見学できます）

むかわの化石や生き物



クジラの骨（現在のもの）

クジラの肋骨（アパラ骨）です。長さ約1.8m。元のクジラはどれくらいの大きさだったのでしょうか。鶴川の海岸で見つかりました（橋本義信氏寄贈）。穂別の山からは昔のクジラの化石が、鶴川の浜では今のクジラの骨が見つかります。

2009年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2009年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16

4月・5月のこよみ

・連休中は、無休です

■：休館日

白亜紀に、北海道は海でした。そのため、陸にいた恐竜は北海道ではほとんど見つかりません。そのかわり、海にいた「海竜」は、たくさん見つかりました。白亜紀の地層が見られる北海道の中央部は、まさに「海竜博物館」なのです。（さ）